

【海技士コース（五級航海専修）】よくあるご質問（FAQ）

Q	A
どんなコースですか。	海技士コース（五級航海専修）は、高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又はこれと同等と認められる者を対象に、実務経験を理論的に構成し、海技士としての専門性と資格取得を支援する教育を行います。 卒業者は五級海技士（航海）にかかる海技士国家試験の筆記試験が免除となり、卒業後の海技士国家試験（口述試験）受験のための乗船履歴が付与されます。
学位は取得できますか。	本校は国土交通省が所管する学校であり、学位授与制度の対象外ですので学位を取得することはできません。
開講時期はいつごろですか。	10月上旬に開講、乗船実習6か月を含む1年間のカリキュラムです。 募集期間：5月中旬～6月下旬 入学試験：7月中旬 （令和8年度現在） ※募集を開始しましたら、ホームページでお知らせいたします。
年齢制限はありますか。	年齢制限はありませんが、学生募集要項に記載されているアドミッション・ポリシーにて入学者受け入れの方針を定めています。 受験資格に該当する場合は受験可能です。
外国籍でも入学できますか。	入学資格に国籍は不問です。 ただし、就学可能な留手続きについてのサポート等は行っておりません。 また、在留資格のみでは日本の国内輸送に従事する船舶等への就職はできません。 なお、入学試験及び入学後の授業・実習等では主に日本語を使用しますので、日本語での履修能力が必要です。
入学後にかかる費用について教えてください。	必要経費については学生募集要項をご確認ください。 学生募集案内に記載の費用の他に、国家試験申請手数料等が必要となります。
入学試験の倍率や受験者数、試験問題のレベルが知りたいです。 海の専門知識を問うような問題は出題されますか。	入学試験内容は以下のとおりです。倍率や受験者数、面接試験の形式については公表しておりません。 ・筆記試験科目 国語（60分） 現代文読解、漢字 数学（60分） 数学Ⅰ ・面接試験（筆記試験終了後に実施します）
入試の過去問題は入手可能ですか。	過去の入試問題及び参考問題等の公開、配布は行っておりません。
予備身体検査証明書の身体検査はどこで受検しますか。	指定医師による証明が必要です。指定医師とは、各地方運輸局長が指定する医師です。 以下のURL をご参照ください。 身体検査受検後は、予備身体検査証明書裏面の基準を満たしているか必ずご確認ください。 https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk4_000035.html なお、出願締め切り日前6か月以内に受診したものがが必要です。 入学試験の身体検査に該当しますので、出願期限までに必ずご提出ください。
入学試験の合格発表はどのように行われますか。	校内での掲示及び郵送で行います。郵送は到着までに若干お時間がかかります。 ホームページでの公表、メールや電話での対応は一切行っておりません。
免許講習は含まれていますか。	海技士コース（五級航海専修）では次の講習を修了することができます。 ・免状取得に必要な免許講習 （救命講習、消火講習、レーダー観測者講習、レーダーARPA シミュレータ講習、航海英語講習） ・第二級海上特殊無線技士（選択科目） ・ECDIS Generic 訓練（選択科目）
授業料等の振込はいつですか。	諸経費等については、入学約1か月後に請求書を発行いたします。 納期は、概ね発行後3～4週間です。
授業は何時から何時までありますか。	1時限目（8時30分開始）～8時限目（17時00分終了）まであります。 やむを得ない場合を除き全ての授業に出席していただきます。

土日祝やGW、年末年始は授業がありますか。	基本的に、日曜・祝日、GWや年末年始の寮閉鎖期間は授業がありません。 土曜日は授業を実施する場合があります。土曜日に授業を行う場合は、入学後にご案内いたします。 また、GWや年末年始の寮閉鎖期間は、寮に滞在することができません。詳細は募集案内をご確認ください。
入学前に船の知識が無くても、授業についていきますか。	本校において一から学びますので心配ありません。
在学期間中に乗船実習はありますか。	1月～3月・7月～9月に海技教育機構の大型練習船での乗船実習があります。
卒業後の流れを教えてください。	五級海技士（航海）の口述試験及び身体検査（筆記試験は免除）を受験します。 試験に合格されましたら、各自で免許申請を行っていただきます。
卒業生の就職先を教えてください。	令和8年度入学が初めての募集となりますので、卒業後の進路について過去データがありません。
奨学金や給付金がありますか	日本学生支援機構奨学金の登録校ではありませんが、以下の奨学金制度を利用することができます。 詳しくは海技教育財団のホームページをご確認ください。 (https://macf.jp/scholarship-2/)